

ソフト宇津木さん、長嶋さんと再会



五輪復帰に思い込め
巨人開幕戦で始球式

東京五輪へエール交わす



共闘誓うもかなわず

アテネで代表監督同士

2004年アテネ五輪の野球、ソフトボールの成績 野球は五輪史上初めてプロ野球選手だけがつくる「ドリームチーム」を編成。長嶋さんによって中畠清へッドコーチが指揮を執り、ヤクルト・阪本慎也も選手が審判を務めた。準決勝で杭州に完封負けしたものの、3位決定戦はカナダに11-2で快勝し、銅メダルを獲得した。ソフトボールは1次リーグ最終戦で上野由岐子投手が完全試合を達成し、優勝の可能性を残す3位決勝に出現したが、杭州に0-3で敗れ、銅メダルとなった。

昨年末、国際オリンピック委員会（IOC）の臨時総会で、五輪開催都市が目の追加を提案するところ認められた。東京五輪が認めた。

「ソフトボール界は一
団結して五輪復帰を目指

「まづ」(宇津木さん)
「応援している。一緒に頑張ってやろう」(長嶋さん)

大会ではソフトボール、野球とともにメダルを獲得。全力で戦った結果、結果的に優勝した。とはいっても、その後、8回戦で敗れた。北京大会を最後に両種目ともが実戦競技から外れることになったが、それが心残りになってしまった。たしかに、天津さんは11年、競輪を通じた地域活性化や五輪開催などを口指して活動を続けていた。長崎さんは懸念などもあり、ハビリを経て社会復帰を果たした。「子供たちが大きくなると、夢を与えてくれる」と五輪開催への想いがうかがえた。